

第4回 ITER機構職員募集説明会(福岡)でのQ&A

1. 日時・場所

平成20年7月22日(火)～25日(金) 9:00～17:00
九州大学 筑紫地区 C-Cube 1階ロビー
〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1

2. 参加者

約80名 (第2回ITER夏の学校のブースを使用)

3. 説明内容

- ・日本国内でのITER機構職員公募について 北澤真一 (ITER計画管理グループ)
(ブースにて対面式で説明および質疑応答を行った。)

4. 説明会でのQ&A

- Q1) ITER機構に日本人職員が少ないのは、日本人の副機構長がいないからと聞きましたが、本当でしょうか。
- A1) 副機構長には日本人がいませんが、そのために職員採用で不利になっているという事実はありません。すなわち、各副機構長の担当のセクションで、副機構長と同じ国籍の人の採用が多いということはありません。日本人職員数は、EU以外の極と同程度の人数です。
- Q2) ITER機構職員は、原子力機構の職員として派遣されるのでしょうか？
- A2) 原子力機構とは雇用契約は無く、ITER機構と個人の間での直接の雇用契約となります。
- Q3) ITER機構職員を一般公募していることを知らなかったのですが、公表はしていたのですか？
- A3) 今まで、ITER機構と原子力機構のホームページなどで公表していました。今年度からは、科学技術振興機構(JST)の研究者人材データベース(jREC-IN) (<http://jrecin.jst.go.jp/>)や、原子力機構による全国での説明会などで積極的に情報公開しています。
- Q4) ITERは30年後になくなる予定ですが、その時にはITER機構の職員はどうなるのでしょうか？
- A4) 回答する立場ではありませんが、ITER機構で経験を積んだ人であれば、その経験を活かせる場を見つけることは可能と考えます。
- Q5) 民間企業に入っても、ITERで働くことは出来ますか。
- A5) 民間企業からITER機構に派遣されている方もいます。また、ITER機構の職員ではなくても、日本が調達を分担する機器を現地で設置・調整作業するために、現地滞在での作業を民間企業が請け負うことも考えられます。
- Q6) ITERで働くことと大学で学生が研究することは、どのような違いがありますか。
- A6) 大学院生の研究は指導教官のもとで行われます。それに対して、ITER計画は、人類史上初めての世界の東西南北の国が参加した大規模な科学プロジェクトです。明確な目的をもって、長期間、大人数で組織的に進めるため、研究というよりも、建設期・実験運転期と段階的に進めるプラント的な側面が強く、厳しい仕事となります。(コメント: ITER機構で働くにあたっては、

建設期 and/or 実験運転期、技術系・研究系・事務系などの選択があります。技術・研究系の専門職(P)の公募では、博士号が必要と記載されていることが多いですが、事務系の専門職(P)と支援職員(G)は、一般的に、大卒であれば応募ができます。)

Q7) ITER 機構の給与は、物価の安い国から来ている人に合わせているので、日本に比べて格段に安いのではないのでしょうか？

A7) ITER 機構の中で国籍による給与の違いはありません。ITER 機構職員として規定された給与表があります。支払いはユーロで行われるので、現在の為替レートでは、日本の公務員よりも高い水準です。